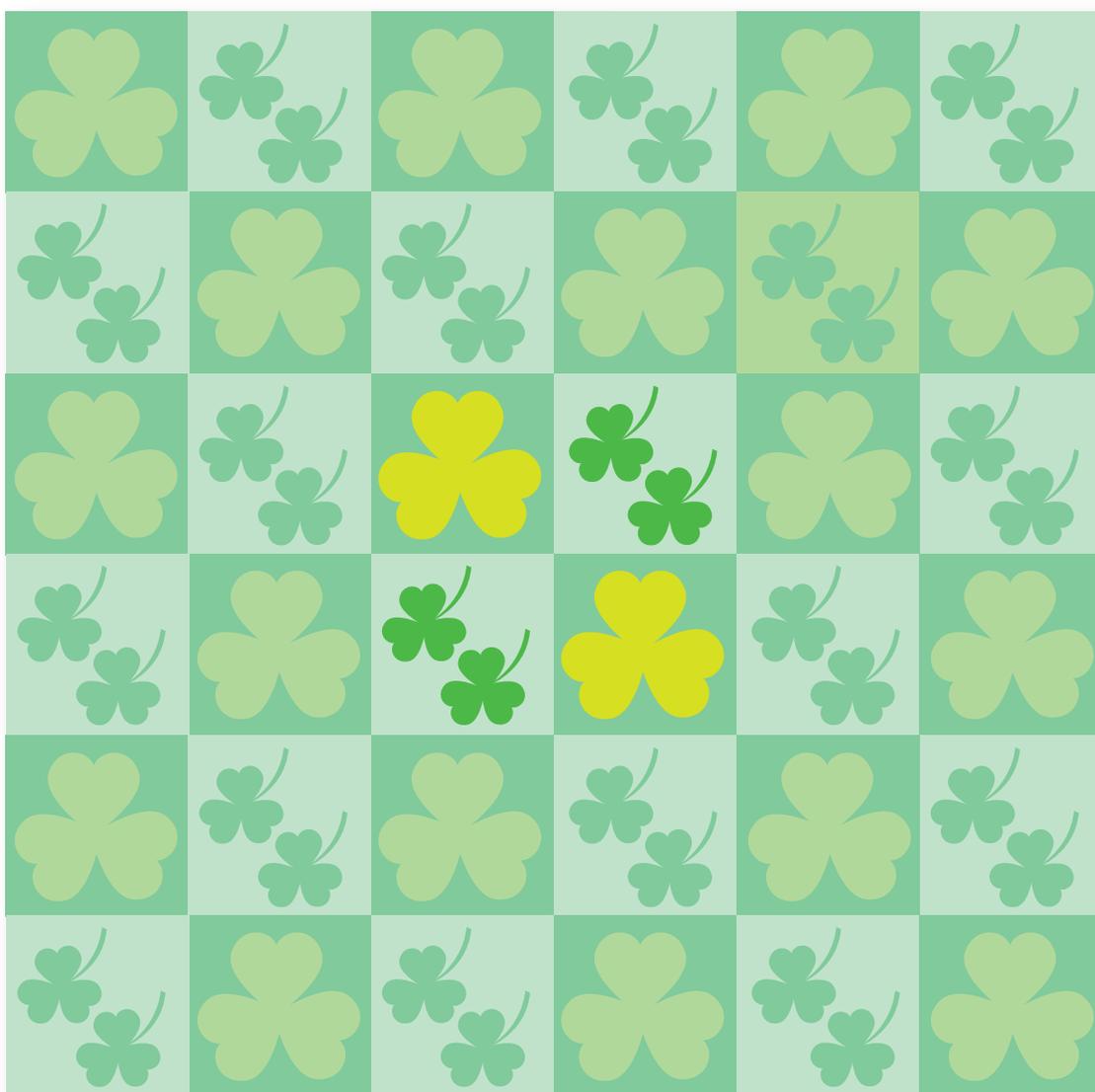


保育所の環境整備に関する 調査研究報告書

平成21年度

—保育所の人的環境としての看護師等の配置—



社会福祉法人 日本保育協会

保育所の環境整備に関する調査研究報告書

— 保育所の人的環境としての看護師等の配置 —

平成21年度

執筆者一覧

- ◎ 上別府 圭 子 (東京大学大学院医学系研究科准教授)

- 多 屋 馨 子 (国立感染症研究所感染症情報センター第三室室長)

- 門 倉 文 子 (なでしこ保育園園長)

- 藤 城 富美子 (杉並区立久我山保育園看護師)

- 宮 崎 博 子 (みたか小鳥の森保育園看護師)

- 日 吉 輝 幸 (穴水第一平和保育所所長)

◎印は、本調査研究委員長

はじめに

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「保育所の環境整備に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

保育所を取り巻く課題は多いのですが、なかでも保育所の環境整備は重要であり、日本保育協会の行う調査研究事業の柱のひとつとして位置づけています。

人間は環境の動物であるといわれます。たとえば日本人の男女がアメリカへ行き、働き、子どもに恵まれたとします。その二人の子どもはニューヨークで生まれ、育てば、自然に英会話（米会話）を話すようになり、普通にニューヨーカー（ニューヨークっ子）になるわけです。

逆もありえるでしょう。アメリカ人が東京に来て、子どもを産んだ場合、東京で生まれ東京で育ったその子は普通に東京っ子になるでしょう。

環境の力は実に雄大であるといわざるを得ませんが、この調査研究ではその環境について、保育所における人的・物的環境という分け方をしております。

今年度は人的環境とくに保育所職員の中で看護職に焦点をあてました。

その理由は現代社会における保育所への期待は年々、増大しておりますが、保育所の機能のうち乳幼児の健康管理は中でも重要で、専門知識のある看護職（看護師または保健師、助産師の資格を持つ者）に期待される役割の増加と保育所への看護職配置率の向上が求められており、この保育所の現状について実態調査することにより保育所の人的環境を高めることを目的とするものです。

本書を保育所の環境整備、なかんづく今年度は保健活動の向上と看護職人材の確保、人的環境の向上に役立てていただければ望外の幸せです。

このたびの保育所における環境整備に関する調査研究として保育所の人的環境としての看護師等の配置に関する調査研究の実施に当たり、上別府圭子先生（東京大学）、多屋馨子先生（国立感染症研究所）、門倉文子先生（なでしこ保育園）、藤城富美子先生（杉並区立久我山保育園）、宮崎博子先生（みたか小鳥の森保育園）、日吉輝幸先生（穴水第一平和保育所）の研究スタッフにご尽力いただいたこと、調査対象保育所の皆様にご協力いただいたことに対し、心から深く感謝の意を表する次第であります。

平成22年3月

保育所の環境整備に関する調査研究報告書

— 保育所の人的環境としての看護師等の配置 —

平成21年度

目 次

執筆者一覧

はじめに

A. 調査研究の目的及び方法	1
B. 調査結果の分析	8
1 保育所及び回答者の属性	8
2 看護師等配置の実態	14
(1) どのような保育所に配置されているか	14
(2) どのような看護師等が配置されているか	15
(3) 看護師等はどのような保健活動を行っているか	16
3 看護師等配置の有無による保健活動の実態の違い	18
(1) 保健活動実施状況と保育所長・保育士が担当する状況の違い	18
(2) 食物アレルギー、その他の慢性疾患、障がい、被虐待児への対応の違い	23
(3) 感染症への対応の違い、パンデミックへの対策について	27
4 看護師等配置ニーズ、看護師等に必要サポート	42
(1) 看護師等の自己評価と研修のニーズ	42
(2) 看護師等未配置保育所の看護師等配置ニーズ	45
(3) 看護師等関与への印象、不関与への印象、意義の認識	47
(4) 保育所の看護師等配置について（保育所長、保育士、看護師等の自由記載欄から）	49
C. 研究員の考察	53
1. 多屋馨子研究員による考察	53
2. 門倉文子研究員による考察	55
3. 藤城富美子研究員による考察	60

4. 宮崎博子研究員による考察	67
5. 日吉輝幸研究員による考察	75

D. 総合的考察と展望

上別府圭子研究員	82
----------	----

付 録

・ 調査票 [保育所長用]	90
[保育士用]	100
[看護師等用]	106
・ 集計表 [保育所長用]	113
[保育士用]	177
[看護師等用]	224